



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
Vol.4



Stand by You

～あなたと共に～

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー 四宮 孝郎

2019-20年度
ガバナー月信 10月号



2019–2020 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 10月号 Vol.4

CONTENTS

ガバナーメッセージ(経済と地域社会の発展月間に寄せて)	1
米山月間によせて	2
クラブ職業奉仕委員長会議 報告	3
青少年交換来日学生受入オリエンテーション・帰国学生報告会・歓迎会を終えて	4
ロータリークラブ・セントラル活用説明会 報告	5
クラブ青少年奉仕合同委員長会議 報告	6
ロータリー財団セミナー 報告	7
ロータリー財団 グローバル奨学生 渡航前オリエンテーション 報告	8
平和フェローシップ 山口真理子さん 出発の報告	9
元グローバル奨学生 活動報告	10
地区大会のご案内	11
地区ロータークト 活動報告	12
My ROTARY 登録率	13
2019年8月度 会員数・出席報告	14
米山奨学会員会	15
米山奨学会 寄付状況	16
コーディネーターニュース	18
ハイライトよねやま	19
敬弔・お知らせ	21

経済と地域社会の発展月間に寄せて



国際ロータリー第2660地区 ガバナー 四宮 孝郎
(大阪西南RC)

もし、あなたが1日1ドル25セント未満で暮らすとしたら…

想像できるでしょうか？

ロータリーにおける「経済と地域社会の発展」とは世界中での貧困の根絶を目指す為のものです。あらゆる形態の貧困の根絶は依然として、人類が直面する一つの重要課題となっています。全世界で極度の貧困の中で暮らす人の数は、1990年の19億人から、2015年の8億3600万人へと半分以下に減少しましたが、まだこれだけ多くの方々が人間の基本的な生活のニーズを満たせないでいます。

全世界で8億人以上が今でも、1日1ドル25セント未満で暮らし、十分な食料やきれいな飲み水、衛生施設を利用できない人々が多くいます。中国やインドなどの国々では、経済の急成長によって、数百万人が貧困から抜け出しましたが、その進捗は男女間で一様ではありません。女性は雇用や教育の不平等により、貧困状態に陥る確率が男性よりも高くなっています。

世界で極度の貧困の中で暮らす人々の80%を占める南アジアやサハラ以南アフリカなどの地域でも、大きな進捗がみられていません。気候変動や紛争、食料不安により新たな脅威が生じる中で、この割合は今後、さらに上昇すると見られています。

それでは我々ロータリアンは「貧困の根絶」に向けて何ができるのでしょうか？

言うまでもなく「経済と地域社会の発展」はロータリーの6重点分野の一つです。ロータリー財団の補助金等を利用して、様々な活動が世界中で実施されています。

まずははじめに、貧困地域社会のニーズを調べることから始めます。

そのニーズには以下のようなものがあります。

①若者の失業率を下げる。

仕事に役立つスキルを身につけることができれば、就職のチャンスも広がる、そのスキルが高まれば生産性が高まり地域経済の発展も促されます。

エクアドルでは貧しい女性たちに少額の融資と職業研修を提供し、女性の自立と貧困の軽減に取り組んでいます。

②起業の妨げとなる要因をなくす。

グアテマラではグローバル補助金を利用して、女性が起業する為の小口融資プロジェクトを実施しています。

③農業への支援

カメリーンでは農業の効率化の為、補助金を使い農業研修を実施し、農家の収入を高めるプロジェクトを取り組んでいます。

これらのプロジェクトは単発のものではなく、効果の持続性が期待されるように、地域社会のニーズ調査から始まり、協力団体と共に実施されているものです。

ロータリーの補助金は人道的プロジェクトのみならず、奨学金、研修といった幅広い活動を実施する為に活用することができます。

皆様のクラブにおきましても、海外姉妹クラブと共に取り組むことができます。リソースについてはMy Rotaryを通じて知ることができますので、是非一度ご検討頂き、共に行動して参りましょう！



米山月間によせて

米山奨学委員会 委員長 **廣瀬 彰久**
(守口RC)

皆様、日頃よりロータリー米山記念奨学事業にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。また、一昨年には財団設立50周年を迎える事が出来ました事、心より感謝申し上げます。

当事業は、将来日本と世界を結ぶ「架け橋」となり国際社会で活躍し、ロータリーのよき理解者となる人材を育成することを使命としております。

5月より「令和」の時代となり、日本においては「平成」は戦争のない時代と言われております。「日本の生きる道は平和しかない」と言うこの言葉は、「ロータリー記念奨学会 50年のあゆみ」に紹介されております。

この平和日本を世界に理解して頂くのには多くの奨学生を日本に迎え入れて、実際に奨学生自身に感じてもらうことが大変重要であると思われます。そしてそれが、平和への人づくりに繋がってまいります。

初めて日本に来る奨学生は、異国の文化に触れる事には大変勇気もいるでしょうし不安もあるでしょう。その為に、奨学生がこの日本で安心して勉学に励めるように世話クラブ制度やカウンセラー制度があります。奨学生は、ロータリアンとの交流を通してロータリーの奉仕の精神をクラブで学び、その交流を通して将来国際社会で活躍し、日本と母国との架け橋となり世界平和に貢献できる素晴らしい人材に育つのではないかと思います。

さて、2019年度の寄附目標ですが、PETS・地区協議会等において四宮ガバナーがガバナー方針に示されておられますように、本年度も一人当たり30000円(普通寄付5000円、特別寄付25000円)のご寄付をお願いいたします。ロータリアンの皆様から頂くご寄付が一人でも多くの奨学生を迎え入れる原資となっております。

2660地区におきましては本年度は53名の奨学生を迎える事が出来、奨学生の受け入れを希望されるすべてのクラブに配属が出来る体制に一步近づいたのではないかと思われます。

10月の米山月間におきまして、国際人材育成事業としての米山奨学事業の素晴らしさを改めてこの機会に再認識をお願い申し上げ、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。



クラブ職業奉仕委員長会議 報告

職業奉仕委員会 委員長 **山崎修一**
(大阪鶴見RC)

日時 2019年8月24日(土) 午前10時～12時

会場 大阪科学技術センター 中・小ホール

司会 地区職業奉仕委員会委員 上甲悌二

去る8月24日に開催いたしましたクラブ職業奉仕委員長会議には、クラブ職業奉仕委員長68名および地区関係者28名、総勢96名の方にご出席いただきました。

冒頭、四宮孝郎Gよりロータリーの原点は親睦と奉仕であること、また公共イメージ向上の観点からは、職場体験や出前授業などの職業奉仕活動を各クラブが一斉に行うといった企画も今後必要となるかもしれませんとの挨拶をいただきました。

委員長の私からは、本日のテーマを「職業奉仕活動の実践に当たって『大切なこと』」と設定し、具体的な各活動において「ロータリーの職業奉仕と言えるためには」という視点を持って実践していただきたい旨を申し上げました。さらにこのテーマを設定するに至った経緯を、本年度の二つの活動方針と四つの活動計画をもとにお話をいたしました。

続いて、地区職業奉仕委員会委員より、本日のテーマに即した、具体的な活動事例の発表を行いました。高橋秀一郎委員からは大阪RCの出前授業について、寺田幸司委員からは大阪西RCの出前授業と職場体験について、実施内容とその背景にある職業奉仕の考え方について報告いたしました。

その後、5～6人で構成される12のグループに分かれ、地区関係者の方々にもオブザーバーとしてご参加いただきながら、討論に入りました。各クラブの職業奉仕活動は、「ロータリーの職業奉仕と言えるため」に、どのような考え方を持って実践しておられるかについて、報告と議論をしていただきました。各グループとも非常に活発な意見交換や質疑応答が行われたように感じております。

最後に、山本博史PGより講評があり、日本において職業奉仕はロータリーの根幹であること、また地区職業奉仕委員会と各クラブの職業奉仕委員長が一体となって奉仕の理念を実現していくことの大切さについてお話しいただきました。

今回のクラブ職業奉仕委員長会議に際しましては、ご多忙の中、委員長の皆様にアンケートをお願いするなどお手数をお掛けいたしました。ご出席、ご協力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。



青少年交換来日学生受入オリエンテーション・ 帰国学生報告会・歓迎会を終えて

青少年交換委員会 委員長

松尾 治
(東大阪西RC)

日 時：令和元年 8月24日(土) 15:00～19:30

場 所：シティプラザ大阪

参加者：青少年交換委員会 11名、ROTEX 5名、帰国学生 4名、来日学生 5名、四宮ガバナー、片山危機管理委員長/パストガバナー、簡青少年奉仕統括委員長/ガバナーエレクト、高谷地区代表幹事、吉田次年度地区代表幹事、土方次年度地区副代表幹事、角谷危機管理委員、青少年交換委員会元委員 1名、ホスト・スポンサークラブ関係者 29名

青少年交換委員会では毎年日本の高校生を世界各国の学生と交換しています。約1年にわたりロータリー親善大使として、ホームステイをしながら派遣先の高校に通い、学業と共に国際交流やボランティア活動を通じて多くの異文化体験をして来るという大変有意義なプログラムです。当地区では今年も5名の学生を派遣し、5名の来日生を受け入れました。

来日生に対する受入オリエンテーションでは日本の習慣や生活様式に対する最低限の知識とプログラムのルールと親善大使としての心構えを指導します。既に日本語を一定以上話せる学生もいて、皆日本語習得や日本文化に高い興味を示しています。これから始まる日本での生活が素晴らしいものとなるよう委員会一同、ROTEXと共にサポートしてまいります。

帰国学生報告会は5名中4名が参加、学校行事のため当日来れなかった1名もビデオレターで参加してくれました。出発前研修では発表時に数々の改善点を指摘されていた彼らが今では自信に満ちあふれた口調で堂々と一年間の成果を発表する姿を見て、青少年の成長力、吸収力の高さを再認識させられました。言葉もままならない海外に於いては、自ら心を開いて能動的、主体的に活動しなければ友達を作ることは難しい。そのことに気づき、勇気をもって頑張り通した彼らに大きな感銘を受け、このプログラムの素晴らしさを再認識するとともに更なる発展に邁進してまいります。

今年度の帰国学生、派遣学生、来日学生は下記の通りです。

長期プログラム

帰国学生	派遣先	スポンサー・ホストRC
浅井 真由壽	アメリカ	大阪梅田
藤井 華子	フランス	東大阪・東大阪東
岩崎 映美	アメリカ	東大阪中央
前田 峻輝	フィンランド	大阪リバーサイド
北野 裕馬	アメリカ	大阪うつぼ

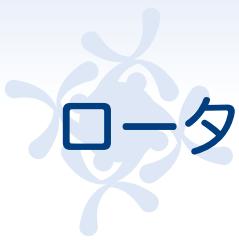
派遣学生	派遣先	スポンサー・ホストRC
古渕 日菜	アメリカ	池田くれは
大塚 栄香	フランス	大阪北梅田
田原 陽二郎	台湾	東大阪東
村西 ほのか	アメリカ	大阪うつぼ
木村 月音	アメリカ	大阪帝塚山

来日学生	出身国	受入高校
Emma Faith RUBICZ	アメリカ	大阪府立園芸高等学校
Penelope JAQUEN	フランス	大阪府立夕陽丘高等学校
Shao-Tang LEE	台湾	大阪府立夕陽丘高等学校
Noah DIENG	アメリカ	大阪府立夕陽丘高等学校
Sasha Thies DUDEK	アメリカ	大阪府立夕陽丘高等学校

短期プログラム

派遣学生	派遣先	スポンサー・ホストRC
和泉谷 えり	ドイツ	大阪帝塚山
藤原 萌	ドイツ	大阪帝塚山

来日学生	出身国
Katharina DODT	ドイツ
Madeleine Sophia RIEMANN	ドイツ



ロータリークラブ・セントラル活用説明会 報告

公共イメージ向上委員会 委員長 樋口信治
(大阪RC)

2019年8月26日(月) 27日(火) 29日(木) 30日(金)の4日に分けて「ロータリークラブ・セントラル活用説明会」をガバナー事務所会議室にて行い、69クラブ・150名の参加がありました。

ガバナー事務所会議室は最大42名が収容可能で、第1回目だけは四宮ガバナーも着席して挨拶頂けましたが、2回目以降の説明会は、主催者側の地区役員や委員会メンバーは全て立ったままの開催となるほどの盛況でした。

不参加11クラブの内、2/3はMy ROTARYに対する関心が薄く、昨年のロータリー賞にチャレンジされなかったクラブですが、反面、昨年ロータリー賞にチャレンジされなかった17クラブの約半数は今回の説明会に参加頂きました。

特筆すべきことは、クラブ事務局員の皆さんの参加が40名と昨年実施した説明会時に比べて減少しており、その分ロータリアンの参加が多くなったことです。

ロータリー活動の主体であるロータリアンとロータリアンを支えて頂いている事務局員の皆さんと一緒にになって、My ROTARYを活用頂くことが大切な事であります。

その意味から両者が揃って説明会に参加頂くことに越したことはありませんが、多くの事務局員の皆さんには昨年実施した2回の説明会に参加されていますので、事務局員の皆さんの参加が減少したことは地区にとってもはや支障にはなりませんし、その分ロータリアンの参加が増えたことで、今年は昨年のロータリー賞受賞49クラブを上回る成果が期待できるのではないかと考えます。

私ども主催者である公共イメージ向上委員会が説明会で強調したことは、

- ロータリー賞受賞を目指すことは、より良いロータリークラブを作る為のひとつの手段であって、目的ではない事。
- ロータリークラブ・セントラルに記録できるロータリー活動37項目は、いずれも国際ロータリーが重要と考えている活動であり、自らのクラブの身の丈にあった形で、どの活動項目にチャレンジするかといった目標設定をすることが重要であり、一旦設定した目標は達成に向けて全会員一丸となって取り組むことがクラブ活性化に繋がる事。
- My ROTARYにあるロータリー情報のみならず、ロータリークラブ・セントラル、ロータリーショーケース、ブランドリソースセンター、ラーニングセンターといったMy ROTARYにある「役立ツール」を活用した活動を行って、クラブの活性化を図っていく時代になっている事。
- ロータリークラブ・セントラルに正しくデータを入力する事で様々なアウトプット・レポートが得られるが、多くの一般会員にとって、これらクラブの各種レポートはMy ROTARYにあるロータリー情報よりも身近な情報であり、こういったレポートを得られることを知れば、My ROTARYアカウントは取ったが殆どアクセスしないロータリアンが、My ROTARYにアクセスするようになり得る事。
- 国際ロータリー第2660地区は日本のみならず世界のどの地区よりも多くのMy ROTARYアカウント取得者率であると共に、ロータリークラブ・セントラルやロータリーショーケースへのデータ入力はダントツにトップを走っている「My ROTARY先進地区」になった。今後も継続してこの活動を続けていき、国際ロータリー本部と連携して、他地区の模範になる活動を続けていくことが、当地区の国際ロータリー本部に対する貢献度を高めることになる事。

今回の説明会に多くの参加者がお越し頂いたことに感謝致します。このことは地区として四宮ガバナーのリーダーシップの下、ガバナー補佐や地区委員会が連携して、My ROTARYから得られる情報を共有し、クラブ活性化に向けて、これら「生の情報」を活用して、クラブへの支援活動を行っていくことへの期待の表れであると感じます。



クラブ青少年奉仕合同委員長会議 報告

青少年奉仕統括委員会 委員長
ガバナーエレクト 簡 仁一
(茨木RC)

日 時：2019年8月31日（土）13:30～16:30

会 場：大阪YMCA会館

出席者：四宮DG、片山PG、山本PG、ガバナー補佐6名、ガバナー補佐エレクト3名、地区関係者46名、クラブ青少年奉仕担当者75名、チームRYLA5名、IAC5名、RAC2名、ROTEX2名、学友会2名 合計149名

各クラブの青少年奉仕部門担当者に、RIの青少年奉仕プログラムについて理解していただき、その素晴らしさを感じ取って頂くために、前年度に引き続き、各委員会合同で開催されました。

まず、青少年保護のための危機管理委員会委員長の片山PGから、時代の変化によって大きく変わってきた青少年への接し方について、分かりやすくお話をいただき、危機管理に対する意識が一層、深まつたことだと思います。

各委員会からの報告では、委員長による説明に続いて、各青少年プログラムを体験した学友や青少年の方々を中心、映像を交えて語っていただきました。

インター・アクターによる海外研修の体験談、帰国したばかりの2018-19年度青少年交換派遣生の報告、ローター・アクターの昨年度地区代表による活動に関する話、チームRYLAによる活動報告、学友会会长の説明等、若いエネルギーとともに、活動を通して得られる充実感、そして素直な感謝の気持ちが伝わってきました。

最後に、山本PGから講評をいただきて会議を終えました。

青少年プログラムへの理解が深まり、今後のクラブ奉仕事業に大いに参考になったことと思います。





ロータリー財団セミナー 報告

ロータリー財団委員会 委員 宮里唯子
(茨木西RC)

2019-20年度の地区財団セミナーが開催されました。以下、概要のご報告を申し上げます。

日 時：2019年9月14日（土）14:00～17:00

会 場：大阪YMCA

主催者：四宮孝郎DG／地区ロータリー財団委員会

出席者：井上暎夫PDGはじめ地区役員および地区委員、クラブ会長および財団委員長（または代理者）、元グローバル奨学生 福田真弓様

目 的：ロータリー財団の最新情報を伝えるとともに、財団の掲げる目的と次年度目標に対する参加者の理解を深めることで、財団への支援を向上すること。

プログラム（敬称略）

ご挨拶	DG	四宮 孝郎（大阪西南）
ロータリー財団	PDG/財団委員会 委員長	福家 宏（八尾中央）
財団寄付と認証	資金推進小委員会 委員長	岩佐 嘉昭（東大阪）
財団補助金	補助金小委員会 委員長	村橋 義晃（大阪中之島）
財団資金管理	資金管理小委員会 委員長	瀬川 昇（吹田西）
財団奨学生プログラム	奨学生小委員会 委員長	柳山 稔（東大阪西）
財団奨学生発表	元グローバル奨学生	福田 真弓
ポリオ根絶	ポリオプラス小委員会 委員長	高士 誠司（大阪西北）
講評・閉会挨拶	PDG/公益財団法人ロータリー日本財団監事	井上 暎夫（千里）

四宮DG冒頭のご挨拶では、マローニー RI会長と面談された折りに、くれぐれも各地区のDDFを有効に使って欲しいとの御要望を頂いたとのこと、また基金から財団に発展したロータリー財団の歴史について簡単なご説明を頂きました。

最後に閉会のご挨拶を頂きました井上PDGからは、本セミナーが会員増強セミナーと並んで地区の最重要の行事であること、公益財団法人ロータリー日本財団が2004年の大阪における国際大会を契機に設立に至った経緯、ロータリー財団が創立された直後第1号補助金活動と言われる奨学金制度についてご説明を頂きました。同時にポリオ根絶を果たすことで、世界中からロータリーが注目され、さらに世界で注目される協力団体とのパートナーシップをもって益々発展し続けるであろうこともご教授頂きました。

尚、財団委員会の各委員長の発表資料は地区ウェブサイトにアップ致しましたので、是非ご参照頂ければ幸甚でございます。

末尾になりましたが、当日設営・撤収にご協力頂きました地区関係者の皆様、またご多忙のなかご出席頂きました地区役員およびクラブ会員の皆様に心より御礼申し上げます。



ロータリー財団 グローバル奨学生 渡航前オリエンテーション 報告

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会 委員長
平和フェローシップ委員長

柳山 稔
(東大阪西RC)

当地区では昨年末に厳正なる書類及び面接選考を経てグローバル奨学生1名を決定し、本年無事にロータリー財団本部より承認されました。



2019-20年度
グローバル奨学生 **上砂 考廣** (かみすな たかひろ)

重点分野：平和と紛争予防／紛争解決

渡航先：英国 London School of Economics and Political Science (LSE)

代表提唱クラブ：茨木RC／Bush Hill Park RC

まず、この奨学生は文字通りグローバル補助金を充当致します。

そして奨学生は渡航前に地区が実施する渡航前オリエンテーションへの参加が義務付けられており、2019年9月12日ガバナー事務所にて実施致しましたので、ここにご報告申しあげます。

オリエンテーションでは、奨学生小委員会より、①奨学生の責務、②ロータリー及びロータリー財団について、③グローバル奨学生について、④出発前の準備、⑤海外滞在の心得、⑥ハラスマントに関するロータリーの方針、⑦帰国後に行うべきこと、⑧ロータリー学友についての説明を行いました。

その後は奨学生である上砂さんから自己紹介を兼ねたプレゼンテーションを実施して頂き、彼のこれまで積み重ねてきたキャリアと今後に対する強い志に参加者全員が感銘を受けました。

続いての歓送会においても終始和やかに温かい雰囲気の中で皆が親睦を深め、まもなく渡航する上砂さんに対して力強い励ましの言葉が送られました。

最後に、まもなく次年度渡航を前提とした奨学生候補者の選考の時期を迎えようとしています。奨学生小委員会として地区内クラブの皆様よりグローバル奨学生候補者のご推薦をお願いすると共に、皆様からの財団ご寄付のおかけをもってこの奨学生事業が我が国の将来のリーダーを育成しているということをお含みおき頂き、引き続き事業へのご理解と今後ますますのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平和フェローシップ 山口真理子さん 出発の報告

ロータリー財団委員会 奨学金小委員会 委員長
平和フェローシップ委員長

柳山 稔
(東大阪西RC)

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。

毎年、世界中から選ばれる最高100人(修士:最高50名、専門能力開発修了証:最高50名)のフェローが、世界の7つの大学と提携した6つの平和センターにおいて学びます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舎・食費)、往復航空券、インターフィールドと実地体験費用が含まれます。

平和フェローシップの申請者は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ・優れた英語力。第2言語能力(日本語を含む)をもつこと
- ・国際理解と平和への熱意を実証
- ・優れたリーダーシップ
- ・修士号取得プログラム応募者には関連分野における少なくとも3年間のフルタイムによる職歴、またはボランティア経験。学士号。

さて、この世界競争制の狭き門である平和フェローシップについて、2002年の平和フェローシップ開始以来、当地区よりお二人目となられた山口真理子さんにおかれましては、今秋から平和センターの一つであるスウェーデン、ウプサラ大学へのご就学のため、8月23日に日本をご出発されました。

これに先駆けて、財団委員会主催において8月20日には歓送会を開催し、楽しいひと時を通じて山口さんのお人柄を垣間見させていただき、そしてこれまでの歩んでこられたことについてお聞かせいただけたこと、感動と共にいよいよ平和フェローとしてスタートされる喜びを共有させていただいたことをご報告させていただきます。

平和フェローは皆様からの財団寄付によって支えられております。国連機関をはじめ国際機関において貧困問題と平和構築の分野を包括的に取り込もうとする機運がある中で、この分野に従事できる人材として貢献しようとする山口さんを皆様にも知って頂き、引き続きご支援賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



元グローバル奨学生 活動報告

2017-18年度 グローバル奨学生 渡辺 栄

2017-18年度グローバル奨学生の渡辺栄です。英国の大学院を卒業後、本年4月からヨルダンの首都アンマンに赴き、ヨルダン人及び難民に対する食糧支援及び雇用創出に関わる国連食糧計画(WFP)の活動に従事しております。

留学前はルワンダにおいて難民の雇用環境の改善に携わっていましたが、脆弱な経済力の下では雇用機会が生まれにくいと感じることがありました。そのため留学中は、難民の雇用とその阻害要因の関係性に焦点を当て研究を行いました。中東へ赴任したのは、異なる経済力を持った国で難民の雇用機会がどのように変化するのか理解を深めたかったからです。

赴任後6ヶ月間は生計向上の部署でプロジェクトマネジメントに携わり、その後現場での経験を積むために、アズラック難民キャンプとWFPの活動をモニタリングするフィールドオフィスで業務を行うこととなりました。今後は生計向上の活動だけでなく、難民キャンプやそれ以外の場所におけるWFPの活動に包括的に携わることができます。

ヨルダンにはザータリ及びアズラックという二つの巨大なシリア難民キャンプがあります。2012年に完成したザータリ難民キャンプが飽和状態になったため、2014年にアズラック難民キャンプが設置されました。現在、アズラックの広大な敷地には約36,000人の難民が暮らしており、そのうち約60%が子供です。アンマンから東へ90km離れた砂漠地帯の真ん中に位置し、敷地内には医療施設、学校、スーパーなどが設置され、太陽光発電など先進的な技術が投入されています。

アズラック難民キャンプにおいて、ヨルダンWFP事務所は大きく分けて二つの活動を行っております。①食糧や食料費の提供と②給食の提供です。①の活動では、難民キャンプの保護を求めるシリア人に対し、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)での登録手続きが済むまでの食事(Welcome Meals)と、登録完了後の月々一人当たり約30ドルの食料費を提供しています。ルワンダではデビットカードを使った振込手続き「Cash Based Transfer(CBT)」が実施されていましたが、ヨルダンではカードレスの生体認証決済が行われています。キャンプの住民がキャンプ内のスーパーで買い物をする時は、支払い時に瞳の虹彩の認証を受け、生体認証システム上で残高が確認された後に支払い処理が行われます。②の活動は、キャンプ内で学校に通う児童生徒に給食を提供することですが、同時に給食作りでキャンプの住民の雇用機会を生み出しています。

国際ロータリーの皆様のご協力により、大学院への進学後、現場で人道支援に携われることが叶い心よりお礼申し上げます。この機会を活かして、WFPの支援を受ける人々の状況や支援のあり方についてできるだけ多くのことを学びたいと思います。今後とも何卒宜しくお願ひ申し上げます。



アズラック難民キャンプ内の風景



難民キャンプにあるスーパーの様子



スーパーでの虹彩認証による買い物



職務訓練のプロジェクトの開会式合同写真

地区大会のご案内



地区大会実行委員会 委員長 **藤本和茂**
(大阪西南RC)

2019-20年度RI会長マーク・ダニエル・マロニー氏は「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマに掲げロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人々が手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いていこうと言われております。

そこで四宮Gは地区スローガン“Stand by You”～あなたと共に～を掲げてこの1年間皆様と共に考え、悩み、歩み、そして楽しんで参りたいと言われています。

四宮G公式訪問に合わせて地区大会PRをしておりますが、その中でいくつか特にお知らせしていることがございます。一日目にフレッシュロータリアン(おおむね入会5年未満のロータリアン対象)に早くロータリーライフに慣れ親しんでいただき又退会防止にもなるのではとフレッシュロータリアン昼食会を企画しております。二日目には青少年奉仕部門にも焦点をあて公開シンポジウム(ロータリアン、ご家族、青少年スポーツクラブ等に参加を招致)を催したいと思います。新しい企画を盛り込んでロータリーの皆様に最後まで楽しんでよい経験をしたと思えるようプログラムを計画しております。

案内ポスター、チラシにもありますように12月13日(金)、14日(土)に地区大会が開催されます。一日目はフレッシュロータリアン昼食会、開会式、各分科会、地区大会晩餐会がすべてリガロイヤルホテルで行われます。二日目は顕彰昼食会、本会議、公開シンポジウムを国際会議場で取り行います。

12月に向けて、約2年前から地区大会実行委員会を立ち上げ協議を進めてまいりました。これも四宮Gの意向を十分反映してプログラムを計画し、一番の目的は国際ロータリー第2660地区の80クラブの皆様に楽しく参加して良かったと思って頂けるよう努力しております。是非お一人でも多くの皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

地区ローターアクト 活動報告

ローターアクト代表 **上村 優太**
(守口RAC)

「第31回なにわ淀川花火大会ボランティア」報告

毎年8月に大阪で開催される「なにわ淀川花火大会」のボランティア活動を行いました。

日時：2019年8月10日（土）開会13時 閉会22時

場所：なにわ淀川花火大会会場（淀川河川敷）

参加者数：101名

ホストクラブ：大阪天満橋RAC、関西大学RAC、大阪淀川RAC、
東大阪RAC、大阪帝塚山RAC



今年で31回目を迎えた「なにわ淀川花火大会」は市民ボランティアや地元企業、団体の協力で開催されており、第2660地区RAも毎年ボランティア活動に参加しております。

昨年度までは大阪天満橋RACがホストクラブを務めておりましたが、今年度から関西大学RAC、大阪淀川RAC、東大阪RAC、大阪帝塚山RACもホストクラブとして加わり、計5クラブの合同例会として開催しました。

当日は地区内の会員やロータリアンだけでなく、第2650地区、第2680地区、第2720地区からのメーキャップ（以下一部「MU」）もあり、合計101名で有料エリア内のボランティア活動に励みました。



お弁当、お茶、パンフレットを有料エリア座席のお客様へ配布する入り口担当グループ、有料エリア内の誘導や座席の整理などを担当する場内誘導グループ、ステージ前の席や納涼船のお客様へドリンクを販売する売り子グループ、売り子へのドリンクを補充・管理する売場基地グループに分かれ、花火の打ち上げが始まるまで各グループ協力し合い取り組みました。気温が高く蒸し暑い日でしたが、熱中症や怪我もなく無事に活動を終えることが出来ました。

また、MU数も多くいつも以上に活気の溢れる活動でした。ボランティア後に参加者全員で観賞した花火は非常に美しく、RAC同士の絆がより深いものとなりました。

当日の活動の様子を地区の公式インスタグラムにて、英語、韓国語、中国語、日本語の4ヶ国語で発信し、世界各国へ日本の夏の魅力を交えながら合同例会の様子を伝えました。ぜひ一度地区公式インスタグラムをご覧いただけますと幸いです。アカウント名は「2660japan_rotaract」です。

2019-20年度 国際ロータリー 第2660地区 MY ROTARY 登録状況 [2019年9月度]

IM 第1組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	池田	30	26	86.7%
	池田くれは	36	33	91.7%
	箕面	28	19	67.9%
	箕面千里中央	20	8	40.0%
	大阪水都	45	31	68.9%
	大阪中央	64	64	100.0%
	大阪北梅田	59	31	52.5%
	大阪北	195	128	65.6%
	大阪大淀	36	20	55.6%
	大阪そねざき	34	16	47.1%
	大阪梅田	37	22	59.5%
	大阪梅田東	32	27	84.4%
	豊中	37	25	67.6%
	豊中千里	36	26	72.2%
	豊中南	23	13	56.5%
	合計	712	489	68.7%

IM 第4組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	東大阪	74	61	82.4%
	東大阪東	58	37	63.8%
	東大阪西	30	7	23.3%
	東大阪中央	18	15	83.3%
	東大阪みどり	21	7	33.3%
	大阪柏原	28	11	39.3%
	大阪御堂筋本町	47	24	51.1%
	大阪難波	58	28	48.3%
	大阪ネクスト	23	15	65.2%
	大阪南	181	154	85.1%
	八尾	65	45	69.2%
	八尾中央	11	9	81.8%
	八尾東	27	6	22.2%
	合計	641	419	65.4%

IM 第2組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	茨木	28	22	78.6%
	茨木東	39	14	35.9%
	茨木西	30	27	90.0%
	大阪東淀ちゃやまち	22	8	36.4%
	大阪淀川	25	8	32.0%
	千里	29	18	62.1%
	千里メイプル	20	13	65.0%
	摂津	32	9	28.1%
	新大阪	33	28	84.8%
	吹田	60	56	93.3%
	吹田江坂	30	25	83.3%
	吹田西	50	50	100.0%
	高槻	49	38	77.6%
	高槻東	35	32	91.4%
	高槻西	19	15	78.9%
	合計	501	363	72.5%

IM 第5組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪堂島	42	33	78.6%
	大阪フレンド	21	11	52.4%
	大阪みおつくし	14	7	50.0%
	大阪西北	33	20	60.6%
	大阪リバーサイド	33	32	97.0%
	大阪船場	34	22	64.7%
	大阪心斎橋	39	25	64.1%
	大阪西南	105	73	69.5%
	大阪ユニバーサルシティ	39	31	79.5%
	大阪アーバン	29	26	89.7%
	大阪うつぼ	38	30	78.9%
	大阪西	104	63	60.6%
	合計	531	373	70.2%

IM 第3組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大東	39	27	69.2%
	大東中央	25	6	24.0%
	枚方	48	18	37.5%
	門真	27	14	51.9%
	交野	38	14	36.8%
	香里園	16	12	75.0%
	くずは	85	83	97.6%
	守口	42	14	33.3%
	守口イブニング	25	4	16.0%
	寝屋川	39	7	17.9%
	大阪東	128	97	75.8%
	大阪城東	34	18	52.9%
	大阪城北	58	34	58.6%
	大阪鶴見	31	22	71.0%
	合計	635	370	58.3%

IM 第6組	クラブ名	会員数	登録人数	%
	大阪	266	70	26.3%
	大阪イブニング	15	10	66.7%
	大阪平野	49	42	85.7%
	大阪城南	44	44	100.0%
	大阪中之島	35	34	97.1%
	大阪大手前	25	25	100.0%
	大阪咲洲	19	17	89.5%
	大阪東南	35	27	77.1%
	大阪天満橋	48	29	60.4%
	大阪天王寺	54	27	50.0%
	大阪帝塚山	46	25	54.3%
	合計	636	350	55.0%

2019年 9月 3日	会員数	登録人数	%
	3656	2364	64.7%

米山奨学委員会

■地区米山奨学委員会より

2019年8月末 〃	全国寄付金合計額 第2660地区寄付金合計額	230,272,102円 (前年度比 53万円減) 22,394,500円 (前年度比 6,000円減)
2019年8月末	全国寄付合計トップ10	1. 第2660地区 22,394,500円 2. 第2770地区 21,166,500円 3. 第2650地区 19,983,758円 4. 第2750地区 17,577,302円 5. 第2580地区 16,837,750円 6. 第2760地区 16,814,250円 7. 第2590地区 13,563,500円 8. 第2700地区 12,848,750円 9. 第2710地区 12,816,834円 10. 第2690地区 12,609,744円

■米山功労者 次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2019年7.8月)。

氏名	回	クラブ名
谷口 浩	7	池田くれは
延原 健二	1	大阪大淀
村岡 正啓	1	大阪大淀
尾崎 雅俊	2	大阪大淀
阪井 康修	4	大阪梅田東
西田 尚道	2	豊中千里
新井 勝二	1	茨木西
梶浦 豊和	1	大阪淀川
小田 晃三	2	大阪淀川
平田 達男	10	大阪淀川
宮地 康弘	1	くずは
日野 守之	1	くずは
初木 賢司	1	くずは
朝川 恵輔	1	くずは
米田 勉	1	くずは
上山 芳次	1	くずは
田中 商人	1	くずは
北村 隆	1	くずは
小北 英夫	1	くずは
三木 彰	1	くずは
源本 将人	1	くずは
高島 叔孝	1	くずは
北川 順清	2	くずは
藤原 和彦	6	くずは
正木 一光	1	守口
岩宮 孝子	2	守口
井上 雅晴	4	大阪東

氏名	回	クラブ名
石田 貴志	2	大阪東
柳川 重昌	3	大阪東
壺山 和憲	6	大阪東
川東 三江子	1	大阪城東
古屋 優子	3	大阪城東
井植 浩之	1	大阪城北
宿 龍太	1	大阪城北
原田 渉	4	大阪城北
発 剛士	33	大阪鶴見
井上 家昌	7	東大阪東
寺西 太一	7	東大阪東
高島 政康	16	東大阪西
中野 博之	1	東大阪西
塩川 芳英	1	東大阪西
秀浦 宣夫	2	東大阪西
柳山 稔	2	東大阪西
石津 良行	3	東大阪西
藤原 史嗣	4	東大阪西
松尾 治	4	東大阪西
島 顕侑	10	東大阪東
梅澤 喜八郎	7	東大阪西
北田 好文	1	大阪難波
比嘉 廉丈	4	大阪難波
黒川 友二	4	大阪難波
川谷 周平	1	大阪南
島本 恭次	1	大阪南
今原 賢治	1	大阪南

氏名	回	クラブ名
草島 葉子	1	大阪南
松山 大祐	1	大阪南
末澤 市子	1	大阪南
岡田 健	1	大阪南
岡本 敏嗣	1	大阪南
寶來 扶佐子	1	大阪南
奥長 浩一	2	大阪南
小松 篤行	2	大阪南
永木 祥弘	2	大阪南
高田 富士夫	2	大阪南
寺嶋 直大	2	大阪南
上甲 恒二	2	大阪南
國分 博史	2	大阪南
清水 久博	2	大阪南
藤井 真澄	3	大阪南
福本 桂太	3	大阪南
青山 総一郎	3	大阪南
原田 稔	4	大阪南
錦織 達郎	5	大阪南
溝畠 正信	11	大阪アーバン
山口 寛	4	大阪城南
浅井 晃	5	大阪城南
高島 凱夫	12	大阪中之島
早瀬 道圓	32	大阪中之島
塙 中一成	1	大阪帝塚山
若林 嘉寛	2	大阪帝塚山
小室 甲	5	大阪帝塚山

■米山功労クラブ 次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2019年7.8月)。

クラブ名	回数
茨木西RC	16
大阪淀川RC	38

クラブ名	回数
東大阪西RC	27
大阪城南RC	48

2019-20年度 米山奨学会 寄付状況

2019年8月末日現在

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
くずは	249,000	2,490,000	2,739,000	83	83	0	100.0%	33,000
大阪淀川	125,000	550,000	675,000	25	25	0	100.0%	27,000
大阪南	712,000	3,160,000	3,872,000	178	105	0	59.0%	21,752
東大阪西	75,000	475,000	550,000	29	18	0	62.1%	18,965
大阪中之島	70,000	445,000	515,000	35	35	0	100.0%	14,714
大阪難波	174,000	560,000	734,000	56	56	0	100.0%	13,107
茨木西	72,500	300,000	372,500	29	30	0	103.4%	12,844
大阪帝塚山	200,000	330,000	530,000	44	33	0	75.0%	12,045
東大阪東	290,000	380,000	670,000	58	5	0	8.6%	11,551
大阪大淀	90,000	305,000	395,000	36	31	0	86.1%	10,972
枚方	240,000	240,000	480,000	46	44	4	95.7%	10,434
茨木	280,000	20,000	300,000	29	2	0	6.9%	10,344
大阪鶴見	75,000	235,000	310,000	30	12	0	40.0%	10,333
門真	135,000	135,000	270,000	27	27	0	100.0%	10,000
守口	84,000	322,000	406,000	42	42	0	100.0%	9,666
大阪東	375,000	675,000	1,050,000	125	26	0	20.8%	8,400
池田くれは	170,000	100,000	270,000	34	1	0	2.9%	7,941
大阪城東	85,000	180,000	265,000	34	6	0	17.6%	7,794
大阪城北	145,000	300,000	445,000	58	3	0	5.2%	7,672
大阪城南	110,000	190,000	300,000	44	4	0	9.1%	6,818
豊中千里	135,000	100,000	235,000	36	1	0	2.8%	6,527
大阪アーバン	70,000	100,000	170,000	27	1	0	3.7%	6,296
大阪北	1,164,000	0	1,164,000	189	0	0	0%	6,158
大阪大手前	150,000	0	150,000	25	0	0	0%	6,000
大阪咲洲	100,000	0	100,000	18	0	0	0%	5,555
大阪イブニング	37,500	40,000	77,500	15	2	0	13.3%	5,166
千里メイプル	100,000	0	100,000	20	0	0	0%	5,000
香里園	32,000	48,000	80,000	16	16	0	100.0%	5,000
大阪リバーサイド	165,000	0	165,000	33	0	0	0%	5,000
池田	120,000	0	120,000	30	0	0	0%	4,000
高槻東	144,000	0	144,000	36	0	0	0%	4,000
大阪	642,500	300,000	942,500	257	12	0	4.7%	3,667
大阪梅田東	0	100,000	100,000	32	1	0	3.1%	3,125
大阪船場	102,000	0	102,000	33	0	0	0%	3,090
豊中	111,000	0	111,000	36	0	0	0%	3,083
高槻西	47,500	0	47,500	17	0	0	0%	2,794
八尾	162,500	0	162,500	60	0	0	0%	2,708
守口イブニング	62,500	0	62,500	24	0	0	0%	2,604
大阪柏原	70,000	0	70,000	27	0	0	0%	2,592
茨木東	95,000	0	95,000	37	0	0	0%	2,567
大阪中央	140,000	0	140,000	55	0	0	0%	2,545

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (1月1日)	寄付者数 (特別寄付)		特別 寄付者 割合	個人平均 寄付額
					個人	法人		
大阪西	260,000	0	260,000	103	0	0	0%	2,524
箕面	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
箕面千里中央	50,000	0	50,000	20	0	0	0%	2,500
大阪北梅田	150,000	0	150,000	60	0	0	0%	2,500
大阪梅田	90,000	0	90,000	36	0	0	0%	2,500
大阪東淀ちややまち	55,000	0	55,000	22	0	0	0%	2,500
千里	72,500	0	72,500	29	0	0	0%	2,500
摂津	80,000	0	80,000	32	0	0	0%	2,500
吹田	150,000	0	150,000	60	0	0	0%	2,500
吹田江坂	75,000	0	75,000	30	0	0	0%	2,500
吹田西	122,500	0	122,500	49	0	0	0%	2,500
高槻	120,000	0	120,000	48	0	0	0%	2,500
大東中央	62,500	0	62,500	25	0	0	0%	2,500
交野	85,000	0	85,000	34	0	0	0%	2,500
東大阪	185,000	0	185,000	74	0	0	0%	2,500
東大阪みどり	55,000	0	55,000	22	0	0	0%	2,500
大阪御堂筋本町	117,500	0	117,500	47	0	0	0%	2,500
八尾中央	27,500	0	27,500	11	0	0	0%	2,500
八尾東	67,500	0	67,500	27	0	0	0%	2,500
大阪堂島	102,500	0	102,500	41	0	0	0%	2,500
大阪西北	82,500	0	82,500	33	0	0	0%	2,500
大阪心斎橋	95,000	0	95,000	38	0	0	0%	2,500
大阪西南	260,000	0	260,000	104	0	0	0%	2,500
大阪ユニバーサルシティ	95,000	0	95,000	38	0	0	0%	2,500
大阪うつぼ	95,000	0	95,000	38	0	0	0%	2,500
大阪平野	117,500	0	117,500	47	0	0	0%	2,500
大阪東南	87,500	0	87,500	35	0	0	0%	2,500
東大阪中央	45,000	0	45,000	19	0	0	0%	2,368
大阪フレンド	30,000	0	30,000	21	0	0	0%	1,428
大阪水都	0	0	0	40	0	0	0%	0
大阪そねざき	0	0	0	30	0	0	0%	0
豊中南	0	0	0	22	0	0	0%	0
新大阪	0	0	0	33	0	0	0%	0
大東	0	0	0	38	0	0	0%	0
寝屋川	0	0	0	37	0	0	0%	0
大阪ネクスト	0	0	0	23	0	0	0%	0
大阪みおつくし	0	0	0	14	0	0	0%	0
大阪天満橋	0	0	0	48	0	0	0%	0
大阪天王寺	0	0	0	52	0	0	0%	0
合計	10,314,500	12,080,000	22,394,500	3,574	621	4	17.4%	6,265



世間の方々へポリオデーを皆でアピールしよう！

10月24日が世界ポリオデーであることは多くのロータリアンはご承知のことと思います。ポリオの完全で効果のあるワクチンを開発(1955年)したジョナス・ソーグ博士の誕生日をもって10月24日が世界ポリオデーに定められました。

RIは世界ポリオデーのイベントとして各クラブに以下の4つをお願いしています。

1. イベントの開催
2. 特別プログラムのビューイング会
3. 「ポリオをなくそう」の広告作成
ブランドリソースセンターにテンプレートが用意されています
4. ソーシャルメディアで拡散する
クラブが開催するイベントは <https://endpolio.org/reg-ja> から登録なさって下さい。

上記の1~4は、クラブで10月24日にロータリーデー、スポーツイベント、チャリティコンサート、街頭募金などのイベント、地域のお祭りへの参加などを企画し、そのイベントを「ポリオをなくそう」の統一広告で地元に周知し、ソーシャルメディアを使って拡散することをお勧めしています。RIが各クラブに1~4を呼びかけています。

特別ビューイング会は日本時間の夕方にフェイスブックで世界ポリオデーの特別プログラムを配信するので、多くの人々に参加するよう呼びかけています。日本語のフェイスブック(www.facebook.com/rotaryjapan)から参加予定をお知らせ下さい。

従来は「ポリオ撲滅」と表現していましたが、今年度からは「ポリオ根絶」と表現していますのでご注意下さい。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 井原 實

ARCとして

この度、拝命致しました2830地区2017-18年度ガバナー 十和田ロータリークラブ所属の佐々木千佳子です。若輩の私が、この様な大きな役を受け、身の引き締まる思いです。でも、お引き受けした以上は何とか務めを果たして参りたいと思います。

私がこの役についたことにより、女性会員にとってロータリーの道が少しでも広がりを持つていくことに期待を致します。女性会員、若い会員を増強する事が全世界で求められております。

元気にご活躍される女性が多い中、未だに女性会員の入会が少ないので何故でしょう。女性会員の存在がクラブにとってどのように変化をもたらし、どのように効果を生むのか等 皆様と情報を提供、共有しながらクラブの強化と活性化を進める事が出来るか勉強をしてまいりたいと思います。女性の感性、存在が若い会員の入会に繋がる可能性を持っています。

入会間もない会員は不安を持って例会に参加しています。その不安を楽しさに変える能力を女性会員は持っています。クラブの緩和剤となります。

この様な事をお伝えしながら、ARCとして皆様にお手伝い出来ます事を重責ですが楽しみに食べて、努めて参ります。

お誘いを待っている女性がお近くに必ずいます。楽しいロータリー、素晴らしいロータリーを皆様と一緒に実践して行きましょう。宜しくお願い申し上げます。

第1地域ロータリーコーディネーター補佐 佐々木 千佳子



1. インターアクトとの交流に学友が一役！

第 2660 地区（大阪府）
インターラクト海外研修
が 8 月 2 日～6 日、タ
イ・バンコクで行われ、
タイ米山学友会の有志メ
ンバーが協力しました。

同研修には、日本から
インターラクター 65 人、
ロータリアン 36 人、各校
顧問など計 116 人が参
加。タイ側の受け入れ地
区、第 3350 地区のイン
ターラクターたちとの交流
および奉仕活動が研修の
目的で、日タイ混合のア
クターチームを作り、チ
ーム単位で公園での植
樹、池の清掃作業、公園
遊具のペンキ塗りなどを
行いました。

フェアウェルパーティではタイ米山学友会



通訳をしたソララシット・スンタロウさん(左)、ワシンさん(中央左)、ブサコーン・ホンヨックさん(右)

のメンバー 3 人が通訳と
して参加し、交流の合間
には、タイ学友会の紹介
や米山奨学会の話をした
とのことです。

奉仕活動から参加した
同学友会のワシン・ティ
シャシャイニランさん
(2011-12/東京清瀬 R
C) は、「朝から晩ま
で、それぞれ長い一日で
したが、インターラクター
の力で日本とタイの友好
関係がもっと深まるこ
とを実感し、感動しま
た。この若者たちはロー
タリーの大切な財産で
す。私たちタイ米山学友
会も、日タイの架け橋と
してますます頑張らね

ば」と、決意を新たに語りました。

2. 理事会・評議員会報告 — 新評議員を選任 —

下記の通り、理事会（8/21 開催）および定時評議員会（9/6 開催）を開催しました。

第二十三回理事会 議長：齋藤直美理事長 出席者：理事 29 人 監事 2 人 名誉理事長 1 人

【主な議題】評議員候補者、後任理事候補者、業務委託・覚書の件、2018 年度事業報告および附属明細書、
2018 年度計算書類、2019 年度収支予算書一部修正、専門委員会規程一部改定および 2019 年度
専門委員選任、定時評議員会招集など：原案通り承認

第十回評議員会 議長：田中正規評議員 出席者：評議員 24 人 常務理事・監事 9 人 列席者 1 人

【主な議題】評議員の選任、後任理事の選任、2018 年度計算書類承認など：原案通り承認

理事会および評議員会とも各会議閉会後、意見交換の時間を設けて、当事業についての意見や質問を自由に発言していただきました。また、ちょうど 4 年に一度の評議員改選の年にあたるため、今回をもって退任される 24 人の評議員へ、齋藤理事長から感謝状が贈呈されました。当日出席された 16 人の退任評議員からは、お一人ずつ、この 4 年を振り返ってのごあいさつをいただきました。



3. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は、前年同期と比べて0.2%減（普通寄付金：2.7%減、特別寄付金：4.7%増）となり、約53万円の減少でした。2009-18年度までの直近10年間の同期累計額では、2017・2018年度に次いで3番目に多い金額となりました。皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。

当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。今年度もぜひご協力賜りますようよろしくお願ひいたします。

4. Pre-GETS でよねやま親善大使がスピーチ

9月1日午後、ガバナー エレクト研修セミナー

(GETS)に先立ち「Pre-GETS」が都内で開催されました。

元グローバル補助金奨学生の岩村華子さん、元ロータリー平和フェローの岸谷美穂さんにつづき、米山学友代表として第3代よねやま親善大使の李英愛さん（2002-05/札幌幌南RC）が登壇。米山奨学生時代、カウンセラーだけでなくその配偶者の存在も大きな助けとなつたエピソードを交えながら、



米山学友会の活動、日韓のロータリークラブへ学友として協力している活動を紹介し、最後に「Eクラブに入りたいと思っている」と宣言して拍手喝采を受けました。

Pre-GETSは今年度初めて開催され、直前ガバナーやそのパートナー、学友たちの体験談を聞くことで、ロータリーが展開するプロジェクトの全体像をガバナーエレクトとパートナーに把握していただこうというものです。

5. 今年も5人の日本人を支援 — 台湾米山学友会 —

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による「日本人若手研究者奨学生」の2019-20年度奨学生が発表されました。台湾米山学友会理事会による選考の結果、19人の有資格応募者の中から、過去最多となった

昨年と同様、5人が採用されました。奨学生には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約87,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生活を物心両面で支えます。

				
王 扇 国立台湾科技大学 管理研究科 MBA 専攻	吉田 忠弘 中国醫薬大学 医学部 医学科	杉本 真歩 国立駒澤大学 管理学部 企業管理学科	水野 紗梨 国立中山大学 社会科学部 社会学科	橋本 真那 国立台湾芸術大学 表演藝術学部 舞踏学科

敬弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

寺嶋三郎 会員 (枚方RC) 2019年8月31日 逝去 享年90歳

会長、幹事、SAA、国際奉仕委員長、職業奉仕委員長
米山功労者（マルチプル）、ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

中西和也 名誉会員 (千里メイプルRC) 2019年9月1日 逝去 享年92歳

中造和夫 会員 (大阪東南RC) 2019年9月14日 逝去 享年70歳

会長、幹事、青少年奉仕委員長、職業奉仕委員長
米山功労者（マルチプル）、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

お知らせ

■香里園RC

事務局移転（10月1日より）

【新住所】〒572-0084 寝屋川市香里南之町35-11 エム・ケイ6香里園 403号室

【新電話番号】(072) 803-8660 【新FAX番号】(072) 803-8661

■枚方RC

事務局移転（10月8日より）

【新住所】〒573-0031 枚方市岡本町7-1 枚方ビオルネ5F （電話、FAXは変更なし）

■大阪御堂筋本町RC

ビジターフィー変更 5,000円 （フレンドリーミールは3,800円で変更なし）

■大阪心斎橋RC

ビジターフィー変更 5,000円 （フレンドリーミールは3,800円で変更なし）

■大阪フレンドRC

ビジターフィー変更 4,600円

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX または E-mail にてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。
原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

2019-20年度 国際ロータリー 第2660地区 ガバナー事務所のご案内

事務所スタッフ

ガバナー	四宮 孝郎	事務所長	五味 千秋
地区代表幹事	高谷 晋介	事務所員	栗正久美 井上望美
地区副代表幹事	吹田 康雄 上田 勝嗣	船橋美紗子 武井知子	杉本亜鶴巳

所在地

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

ホームページ

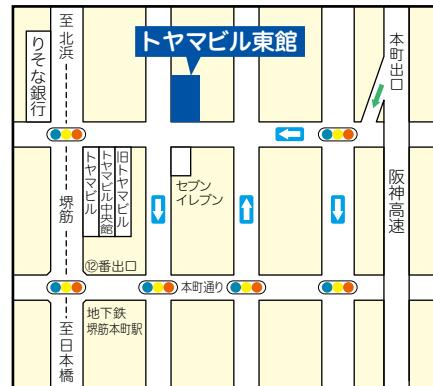
<https://www.ri2660.gr.jp/>

勤務時間

9:30~18:00

休日

土曜、日曜、祝日
夏季休暇 8/13~16
冬季休暇 12/30~1/5



※地下鉄堺筋線 堀筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております(最多36名)。詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

月信編集委員会

- ガバナー 四宮 孝郎 (大阪西南RC)
- 地区代表幹事 高谷 晋介 (大阪西南RC)

- 地区副代表幹事 吹田 康雄 (大阪西南RC)
- 地区副代表幹事 上田 勝嗣 (大阪西南RC)
- 担当地区幹事 仲庭 昭一 (大阪西南RC)



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp